



# 内外海

公民館だより

【発行】  
内外海公民館  
小浜市阿納尻 43-10-1  
TEL&FAX 53-2724  
平成29年 2月24日

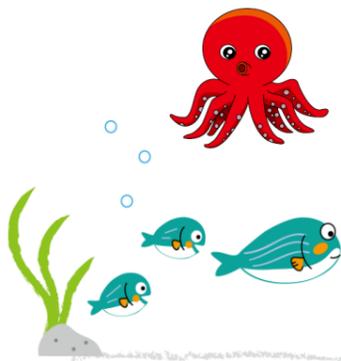
【HPアドレス】 [http://www1.city.obama.fukui.jp/obm/kouminkan/utitomi\\_k/](http://www1.city.obama.fukui.jp/obm/kouminkan/utitomi_k/)

あらためて・・・

## 内外海まちづくり協議会って？

協議会は、内外海地区の住民が一体となり、身近な課題を自主的に解決しながら、内外海地区の特性を生かし、青少年にも親しみのもてる豊かな地域づくりをすることを目的とする。

協議会規約第2条より



平成27年4月23日に発足した「内外海まちづくり協議会」ですが、まだまだ地区民の皆さんにその活動の趣旨をご理解頂けていないのが実情です。これまで、各種事業の便宜上、各種団体を中心に活動してきた経緯から、まちづくり協議会自体が、特殊な団体と受け止められがちですが、本来は地区民皆さん一人ひとりがまちづくり協議会の委員なのです。

昨年9月に行われた内外海小学校児童との「まち協討論会」で、5年生児童が語ってくれた内外海に対する「夢」を大人の私たちがぼんやり聞いていたら恥ずかしいですよ。子どもたちを応援したくなりますよね。



内外海地区には、自慢の宝がたくさんあります。多くの水産資源を産み出す豊かな自然、歴史的価値のある文化・風習・仏像・・・そして何より人柄の良さ！今や全国的に見ても少子高齢化の波が押し寄せていますが、今までのように行政だよりの進み方では、いずれ手遅れになってしまいます。



（子どもたちの「夢」は内外海小学校学習発表会でも発表されました）  
内外海地区は私たち地区民でつくり、一度は大学進学などでよそへ行ったとしても「やっぱり内外海が一番、内外海に住みたい」といつか帰ってきてくれる子どもたちを地区民みんなで育て、みんなの夢を実現できる内外海である為に、地区民みんなで力や知恵を出し合い、持続可能な、よりよいまちづくり（地域づくり）をしていきましょう。

### 「頻発する災害から命をまもるには」

2月4日(土)まちの防災研究会理事長の松森 和人氏を迎え、内外海まちづくり協議会主催の防災講演会が開催されました。昨年は、熊本大地震、東北・北海道地域へ台風上陸、糸魚川の大火と災害がありました。どの災害も予想外の発生となり、まさに今、私達のところにも発生する可能性があります。松森先生から、災害の状況ビデオや発生のメカニズムの解説がありました。大切なこと（災害から命を守る3カ条）  
○災害をあまく見ない  
○災害について正しく学ぶ  
○隣、ご近所といざというとき「つながる」  
いつ起こるか分からない「災害」・・・貴方の備えてきていますか？南海トラフ大地震も想定され、小浜でも震度6以上が発生します。自分の、家族の命を守る「備え」をしてください。



### 若狭の散歩道

『象が行く』 その4

小浜に象が着いた応永十五年（一四〇八）頃は、京への道はどうだったのでしょうか。

今日の私たちの感覚では、大津のバイパスができる前なら、京都へは、いわゆる保坂を越え、今津に出て、湖西を浜大津にまで行き、逢坂山を越えるという道を考えます。そして、その延長線上で、参勤交代は、浜大津から東海道を通ったものと思えます。

しかし、実際はそうでなかったよううで敦賀の「金山を過て、近江柳ヶ瀬、美濃国関原へ出て、東海道・木曾街道へ分る。此道法百貳拾八里九丁」「木曾路を行は百三十八里半十一丁也」と「稚狭考」四巻では書いています。

若狭の殿様は、一世に一度、大津の倉を巡見したそうです。その時は、熊川から大津へ出て桑名に出たと「稚狭考」に書いています。この距離は「伊勢廻りといふて百四十六里老丁也」とあります。

車社会でない時代の人にとって、道のりを少なくしたいという思いは強かったようです。当然、象は最短距離を行ったものと考えられます。

資料提供者 井上耕養庵

### 「内外海短歌クラブ」

会員募集！

4月から毎月第1火曜日に短歌サークルの活動を始めます。

季節の移ろいや生活の中での悩みや感謝の気持ちを31音にしてみませんか・・・？

お問い合わせは久須夜交流センター（Tel 53-2724）まで

### 【福寿会よりお知らせ】

3月22日(水) 9時30分

久須夜交流センター和室にて「介護保険制度と社協の仕事」と題して講演会を行います。

地区民の皆さん、どなたでもご参加頂けますので、是非ご参加下さい。（別途チラシご覧下さい）

### 【3月の休館日】

- 2日(木・職員研修臨時休館)
- 6日(月)
- 13日(月)
- 19日(日・家庭の日)
- 20日(月・春分の日)
- 21日(火・春分の日)の振替
- 27日(月)

AEDの目録進呈



内外海小学校 学習発表会

発信！内外海っ子の志

2月5日(日)に内外海小学校・多目的ホールで平成28年度 学習発表会が行われました。発表後に内外海まちづくり協議会の川代会長より小浜市から預かったAED(1台)の目録が贈られました。(これは昨年9月24日に5年生児童とまちづくり協議会が行った討論会で児童からの要望を受け、「市長と夢トーク」で川代会長から市長に伝えたところ、実現したものです)

1年生：ドキドキいっぱい、1年生



2年生：みんな大好き ハムちゃん



3年生：内外海のたから物



4年生：劇 ごんぎつね  
～感じたことや話し合ったことをいかして～



5年生：未来の内外海のために  
～私たちが考えるまちづくり～



6年生：温故知新  
～伝統を受け継ぎ未来への志を持とう～



～まち協活動報告～

1月24日(火)まちづくり協議会・健康福祉部会活動として、すこやか会のみなさんが内外海保育園園児とその保護者との交流を図りました。

まず久須夜交流センター・食の体験実習室でたくさんのお好み焼きを作り、保育園に運んで、園児や保護者の皆さんと一緒に楽しく食事をしました。(材料のキャベツは、堅海区にお住まいの倉持弘道さんが提供して下さいました)

今年度は、市からの助成が断たれ「母親クラブ」活動が困難になったとの情報から、まちづくり協議会で何か取り組めないか、と企画したもので、第1回の手芸教室の方々の協力による『手まりづくり』に続いて、今回で2度目の取り組みとなりました。来年度からは、久須夜交流センターで園児と、協力頂ける地区民の方々などで楽しい活動(調理体験会や交流会など)ができないかと、検討中です。



園児からレイの贈り物

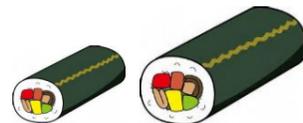


みんなで美味しくよばれました



オニだま、にげろー!

2月3日(金)内外海保育園で節分の豆まきが行われました。園児たちは、オニに追いかけて、一時は大騒ぎとなりましたが、中には勇敢に立ち向かって豆を投げつける園児もいて、頼もしい姿を見せてくれました。豆まきの後は、おたふくさんから豆と小判(お菓子)が配られました。



市老連 囲碁将棋大会

1月27日(金)平成28年度 囲碁・将棋・麻雀大会が行われました。内外海地区老人クラブ連合会からは、将棋に1名、麻雀に3名が参加しましたが、上位入賞は叶いませんでした。

